

## 水系 1 液型特殊アクリル樹脂

# ハイパーサーフ

## HYPER SURF

肉やせの少ない高性能なハイグレードサフェーサーです。  
上塗りを美しく仕上げます。

### 用途

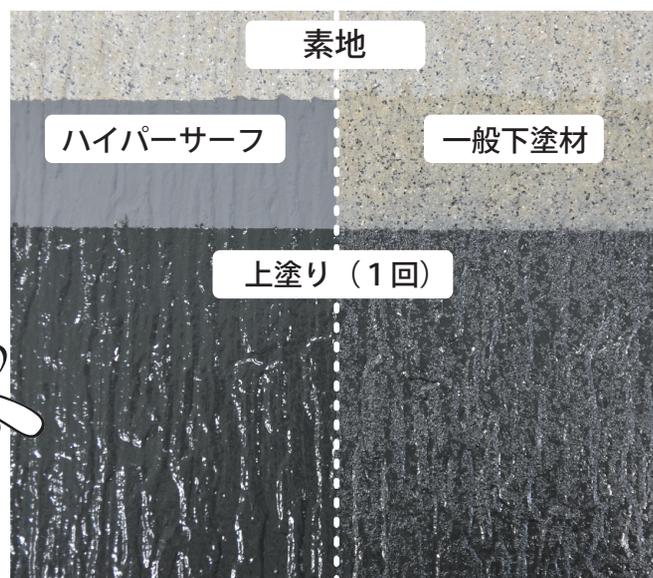
- 住宅屋根用化粧スレートの下塗り兼素地調整。（ただし寒冷地には不適）
- 各種窯業系屋根材の中塗り  
→ エポックマイルドシーラーと組み合わせることで、未塗装波形スレートや乾式洋瓦など様々な窯業系屋根材の素地調整が可能。

### 特長

#### 1. 仕上がり外観の向上

塗料固形分が高く、素地調整機能に優れるため、  
上塗りの仕上がり外観を向上させます。

上塗りがこんなに  
キレイに  
仕上がります！



#### 2. 優れた乾燥性

サフェーサーでありながら乾燥性が早い。（23℃ 4時間）

#### 3. 塗装作業性に優れる

マイクロパウダーの使用により、1回で多くの塗付量（0.2～0.4kg/m<sup>2</sup>）を非常になめらかに塗装できます。

#### 4. 優れた溶剤バリア性

特殊モノマーを使用した高架橋型樹脂の採用により、水系サフェーサーでありながら溶剤バリア性に優れ、弱溶剤系上塗り塗料が使用可能。

### 適合上塗り材

- 各種水系屋根用塗料 ※水系パワーフロンは中塗りが必要です。  
（水系パワーフロン、水系ナノシリコン、水系カスタムシリコンⅡ、ルーフピアニ）
- 弱溶剤系屋根用塗料  
（パワーフロンマイルド、パワーシリコンマイルドⅡ、バイオマスR-Si、ルーフマイルドSi、ルーフマイルドU）

### 適合屋根材

- 住宅屋根用化粧スレート
- プレスセメントがわら
- 波形スレート
- 乾式洋瓦

※未塗装材や劣化により塗膜がない場合は、別途裏面塗装仕様内下塗り（1）にエポックマイルドシーラーが必要になります。  
※裏面塗装仕様内下塗り（1）としてスラリー強化プライマーⅡも使用可能です。

## 塗装仕様

### ●住宅屋根用化粧スレート、プレスセメントがわらの場合

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ホコリ、苔カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り	ハイパーサーフ 15kg	0~5% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.2~0.4	1	38~75	—	4h以上	—
上塗り	水系ナノシリコン 15kg	5~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.18	2	42~50	2h以上	—	12h以上

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。  
 ※基材が脆弱化している場合や、無塗装品にはシーラーが必要です。(推奨：エポックマイルドシーラー)  
 ※塗装後は十分に瓦間の縁切りを行ってください。

### ●波形スレート、乾式洋瓦、劣化の進んだ住宅屋根用化粧スレート

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗付量 (kg/m <sup>2</sup> /回)	塗回数 (回)	塗面積 (m <sup>2</sup> /缶)	塗装間隔(23℃)		
							工程内	工程間	最終養生
素地調整	付着物(ゴミ、ホコリ、苔カビ、油脂類)をワイヤーブラシ、皮スキ、タワシ、高圧洗浄機で丁寧に除去し、十分に乾燥させる。								
下塗り(1)	エポックマイルドシーラー 主剤 10kg 硬化剤 1kg	既調合	ハケ・ローラー エアレス	0.1~0.15	1 (~2)	73~110 (36~55)	— (4h以上)	5h以上 7日以内	—
下塗り(2)	ハイパーサーフ 15kg	0~5% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.2~0.4	1	38~75	—	4h以上	—
上塗り	水系ナノシリコン 15kg	5~10% (希釈水)	ハケ・ローラー エアレス	0.15~0.18	2	42~50	2h以上	—	12h以上

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。  
 ※エポックマイルドシーラーは弱溶剤系塗料です。上記下塗り(1)としてスラリー強化プライマーⅡも使用可能です。  
 ※塗装後は十分に瓦間の縁切りを行ってください。

## 荷 姿

ハイパーサーフ 15kg

## 標準色

黒(日塗工 N-25 程度)、グレー(日塗工 N-40 程度)

## 注意事項

1. 塗装用具は水系専用のものを使用し、ローラーは短毛不可、できれば厚付けタイプをご使用ください。
2. ハイパーサーフが基材重なり部に入り込んでしまうと縁切りが困難となるため、なるべく入り込まないように注意して塗装してください。
3. 未塗装材や劣化により塗膜がない場合は、別途裏面塗装仕様内 下塗り(1)にエポックマイルドシーラーが必要になります。
4. 上塗りが弱溶剤系の場合、薄塗りは避けてください。(リフティングの懸念があるため)
5. ハケ塗り仕上げとローラー仕上げが混在する場合は表面肌が異なるため、ハケ塗りの部分は希釈を調整して塗装してください。
6. 塗料やミストがガラス・アルミサッシなどに付着した際には、すぐにウエス等に水を染み込ませて拭き取ってください。
7. 保管は凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。開缶後は直射日光を避け、皮張りした場合は必ず取り除いてください。
8. 塗装直後、翌日までに降雨・降雪・夜露の心配がある場合は、施工を避けてください。また、山間部や夜露の早く降りる地域では、早めに塗装を終えて十分な乾燥時間を確保してください。
9. 塗装後は十分に瓦間の縁切りを行ってください。
10. 塗装面のゴミやホコリ等は取り除いてください。
11. エアレス塗装の場合、飛散による汚染の可能性がありますので充分養生してください。
12. 塗装中の保管は必ずフタをし、直射日光の当たらない場所に保管してください。
13. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される場合がありますので、充分ご注意ください。
14. 塗装による臭気で、近隣に迷惑を掛けることがありますので、十分に配慮をお願いします。
15. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。



大阪府淀川区西三国4丁目3-90 TEL 06-6391-3151  
 本社・東京・北関東・中部・広島・福岡・札幌・仙台

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

OND2104